

刊夕 日九月九

# 常磐每日新聞

定額 一月五拾圓 郵費別  
 廣告刊五號十二字第一行五拾圓  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

## 隱樓の凡夫なり

真繼 雲山

近頃の日本人は、文化の進歩と反比例して、傳來の讀書力がだんだん退化してゐる。中央の大新聞が同盟して、六つかしい漢字を平かなで誤魔化すやうになつてから、今に熟語の意味が漢學者以外には分らなくなる。士風節義も従つて退化しやう。これといふのも千年以來の國字を輕んじ、毛唐の横文字を崇拜し始めた應報なれば是非もないが、漫字を主とする佛典の理解はこの先きますます困難とならう。

斯うした厄介な時代に處する上分別如何といふに、二つの目玉さへあれば分るといふ繪を見せるに限る。そなたも近頃の淺薄な繪では佛法の眞韻を傳ふるに足らず、矢はり骨董品と同じく古畫の方が宗教味、藝術味において、すぐれてゐるやうである。さうした意味合から近頃の私は、佛教古畫の蒐集研究に没頭してゐるが、なか／＼面白いものが掘り出せる。

こゝに本朝、後水尾天皇の元和元年に生れ靈元天皇の寛文八年に辭世「鶯の山つねにすむてふ峯の月假りにあらはれ假りに隠れて」

を遺して示寂した日蓮宗の名僧元政下人がある。山城深草瑞光寺の開山である。その數ある撰述のうち『扶桑隱逸傳』といふ名著を入手した。古來、名利世榮を厭ふて山中に逃げ込んだ隱士七十餘名の畫傳であつて寛文四年の刊行、三百年前彩筆の古畫と相対つて風韻掬すべく甚だ珍重に價する名利に急なる現代世相に對し、二階からの眼藥として、近頃の内に何とかこの隱士傳を紹介したいものと思ふてゐる。

斯うした隱士の風懷を歎慕する近頃の私は身は黃塵萬丈の帝都の眞ん中に巢喰つてゐるが、ナニも毎日街頭に晒らされてゐるわけではない。大抵は三階の屋根裏にかくれて、ひたすらに俗事を厭ふてゐるのである。この邊聊か小乗といはれても己むを得ぬ。全く近頃の世相は、私のやうな浮世ばなれのした舊式人間には煩はしき限りである。これがモウ一步、大乘的に轉出すると、衆生救済とか何んとかいつて、黄色い聲を張り上げるやうになる筈だが、私のやうな羅漢には程遠いことだ。

かつて慧心僧都は俗塵を避けて横川に屏居したといふが、僧都ならぬ私も、三階の屋根うらにたくれ、心は推古朝から徳川時代邊を往來して、いゝ氣もちになつてゐると、時々、俗人が俗事を持ち込んで來るには降參する。こゝは三十六計の隨一、省電で一時間もかゝり、半日以上もウロ／＼せねば分らぬやうな府下の高圓寺か荻窪邊へ屏居をきめ込もうと目論んでゐる。それ迄の便法として大名式に面會日を毎月八日と定めてゐるが、先様ではちつとも眺らへたやうに來てくれない。俗人共よ、頼みがある、どうぞ八日以外には來てくれるな。戀人さやあるまいし、用件には電話や郵便といふ重寶なものがあるのだ。

## 信心の籠

朝鮮屈指の貿易商福永政治郎氏は曩に私財十萬圓を投じ、金南麗水の一角に開拓工事中であつたが、首尾よく十年計劃が完成し、數百町歩の人工水田に稻穂が青々と稔ることになった。これこそ無より有を生じた國家的奉仕事業である。その資財は巨富といつて差し支へないが、汽車は三等、粗衣粗食、陰に施すを以て至樂となし、名利の外にあつて恬淡、水の如き人者の生活を送つてゐる。

道樂といふては念佛三昧と佛畫佛像の蒐集だけである。その居室は何百體といふ大小古今の佛像で一ぱいだ氏は朝晩その佛像の眞ん中に端座して、念佛三昧に入つてゐる。

これだけの環境があれば鳥永老人ならずとも誰でも多少は佛樣氣分になれる。信心の籠で信心の水に浸れば何人も信を獲る。佛縁を結ぶことの外に信を獲る道はない。

—(完)—

印刷物の御用命は總て  
 常磐毎日印刷株式會社  
 電話六〇三番

●は切貸●  
 電話三四三番の  
 ミシサ  
 昭和三十四年十一月一日

郡下模型飛行機競技大會

◎期 日昭和七年九月十八日(第三日曜)  
 ◎場 所 平町第三小學校庭  
 ◎競技方法 タイム滞空競技

◎賞品 一等高さ一尺の大銀カップ及び銀賞牌、銀メダル其他十五等迄澤山進呈奮て多數御參加あらん事を!

規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ

主催 平町いづみや飛行機材料店  
 後援 平町常磐毎日新聞社  
 東京ダイナム模型飛行機 東京研究會

うなぎの御用命は うなぎ奴

毎度御ひいき 有難ふ御座ります

平町田町(電話二二番)  
 ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舗

平町二丁目電三一

葬具と 靈柩自動車御用達

造花

町川新町平 屋本橋  
 電話一六三番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雜誌が 自由に讀める 川崎巡回文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

平町二丁目 三井タシク 電話八六五番

# 夏井川の改修

## 本年度十萬圓

### 三ヶ年繼續の大工事

### 愈よ來月早々に起工

## 日夜設計を急ぐ

過般内務省の補助に依り縣營工事として行はれる事になつた石城郡

藤原川及び夏井川の河川改修工事は藤原川七萬圓夏井川十萬圓の工費を以つて着手すべく目下平土木監督所にて日夜設計を急ぎつゝあるが夏井川は來月早々起工の豫定にて來る十日内務省より富永技師一行が

來平實地

調査を行ふ事になつた

尙夏井川改修工事は三ヶ年繼續事業として本年度は十萬圓を以て夏井、草野間の村境たる六十枚橋より河口に至る川幅擴大並に堤防の改築等を圖る大工事なので附近

村落では連日同工事の噂で持切りの有様である

## 恩師の靈に

### 生徒が參拜

平第一小學校生徒が  
彼岸の中日に

平第一小學校にては來る二十三日秋季皇靈祭當日全校生一同にて恩師武川校長初め矢野、橋本、引地各訓導の靈を慰むる爲め墓參をなす

好問梨品評會 石城

郡好問村果樹組合では來る十二日午前八時より全組合員の梨畑に於いて品評會を開催する事となつ

## 木炭

### 移出増加

濱三郡木炭同業組合の去月中に於ける生産検査數を見ると石城郡が四萬三千七百八十九俵、双葉郡が四萬四

十俵と云ふ大減少である是れは東京市場の不況でストツクが多い爲めであるが最近東京相場で五錢の高値を見たので移出がポツポツ増加しつつあると

教員体操研究 石城

初等教員研究会にては本日前午十時より平第一小學校に於て委員會を開き本年十一月福島男子師範學校に於て開かれる縣下初等教員体操研究會に左の諸氏を出席せしむる事に決定した

平第一小 小林武志 内郷佐藤正太郎 平第三石田伸六郎 小名櫻井榮治 草野木田芳重

## 米國産の

### 不買同盟を

ガソリン騰貴で  
自動車業者騒ぐ

平署管内に於ける縣自動車協會警城支部では今回米國産ガソリンの騰貴せる結果米國産ガソリンを廢して安價な露西亞産ガソリンの大量購入をなさんと運動を構である

## ユニホーム新調し

### 磐女軍が安積遠征

磐城高等女學校にては來る二十三日安積高女に於て行れる縣下女子中等學校の体育大會に出場する選手のユニホームを各學校協定の結果左の如く決定した

陸上競技 庭球 排球 (白地に磐の海老茶マーク及び同録巻(籠球(緑地に磐の海老茶マーク及び同録巻))

## 蘭市況(日)

### △四倉市場

(白蘭)四百四十四貫(最高)五十圓五十錢(最低)三十三圓(馴)四十五圓八十錢

## 匪賊夜話(9)

滿洲奉天駐劄

軍曹 矢野重光

### 戰鬥の水の好き

人死する前には水を味良く飲むとは確かに信ぜられます。自分は出動に際して炎熱の中を行軍と共に戰鬥をした。死する人を見て思ひ浮かべて、しみとくと感じられた、其れは出動の度に戰鬥を續けし時の汗小川の如く背筋を流る、汗知り居り乍ら唯々敵を目標に射撃の前進を續けるばかり何を忘れて居る。而し時過る銃聲も止む前進命令あると山を越して谷を越して前進だもう汗にて咽喉が乾く如何に水が欲しくとも自分を保ち下さるのには生命水只々水筒一本である。前進し或る峯に休憩する警戒兵を立て、休む呼々とばかり何より早速と右手を延ばし水筒口栓に手を掛け生命の飲水一口をむぐぐとどを鳴らし通る其の味其の好き有難き事何と云ふ様もなかつた。

朝から戰鬥をして暑い行軍の後、新賓へ着

たのは七月十九日の日暮れだった、私等二名は宏壯な構の商店の裏で洗濯を始め、井戸端で汗臭ひ襦袢を洗つてゐると支那の婦人や子供が面白相に集まつて來た。

洗濯を終り体を洗ふため裸になつた「タラヒ」に水を汲むと子供や婦人も居なくなつた、變に思つて日本語のわかる青年に聞くと彼は

「シンバイ」

流石の軍人も赤面の至りそちこちにクス／＼と笑聲が聞こえる。

言ふ「皆さん此處で裸になる事悪い」

「何故？」

「支那では婦人は男の肌を見る事をきらうみんな今家に入つて顔をかくして居る。入浴するならば家でやりなさい」

## 外科

X光線科  
性病科  
外科

入院隨意

平町田町

### 安齊外科醫院

電話四七五番

## 金融

各生命保險會社保險證書二即時御融通

◎債券御取立ノ御依頼ニ應ジマス

債券整理ノ御依頼ニ應ジマス

平町南町(二十三夜側)

伊東社

## 市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎

外科一般、婦人科 市原陸郎

外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

# 故郷の空戀し

## 平出身松崎飛行士

### 昨日數度低空旋回

#### 來月上旬改めて郷土訪問

昨日正午頃平町上空に一臺の飛行機が影を現はし數回に亘つて低空旋回を爲し暫くして

第一小學校の出身で昨年十月二月千葉縣船橋町第一飛行學校に入學し本年四月見事三等飛行士にパスし今回

行組合では近く平町に開所される平養業取締支所の開所記念として記念品を寄贈すべく協議中

### 南方に飛び去つた

平町の人々は同機が故障を生じて着陸地を探して居るのではないかと戸外に飛び出しアレヨ〜と大騒ぎを演じた、程程同機は平町一丁目自動車業松崎安氏の二男二郎君が操縦して居たのである事が

濱町及び四倉町に不時着陸した爲め兩機の故障修繕の爲め學校から選抜されて飛行來郡せる好機會に故郷戀しさの餘り前記の如く旋回飛行を

試みたもので來月上旬頃改めて郷土訪問飛行を行ふ由である

### リンチ事件

#### 警中生停學處分

既報警城中學校に於ける本年七月中のリンチ事件は其後引續き校長が忍かに取調中の處此程五年生湯本町大平某を無期停學處分にし一段落を告げた

政府の關稅定率法改正案の爲め高率の輸入税が加せられる事となつたが政府は特に養鶏組合中央會及び購買聯合組合員の前記飼料輸入に對しては他に轉賣讓渡せぬ條件付で無税にする事となつたので本日平町役場では各農養鶏家及び組合員に其旨の通牒を發した

### 養鶏飼料

#### 買入の便宜

平町の養鶏業者間で從來盛んに輸入されて居た養鶏飼料の玉蜀黍高粱等は今回

好間蠶業寄贈 石城郡好間村大字上好間養蠶實

### 北滿水害

#### 義捐金募集

平第一第三の兩小學校にては全校生徒より北滿水害義

### 命懸けの石炭拾ひ

#### 貨車にはさまれ重傷

石城郡内郷村字町田地内鐵道線路内で八日午後六時頃同村字白水居住無職古山源吉(五)が石炭貨車の下で粉炭を拾つて居た處同貨車に機關車が連結されたので慌てて避けやうとして貨車の間に體を挟まれ胸部右腕等に重傷を負ひ直ちに炭礦病院に收容されたが生命危篤であると

### 十日から豆腐値上

#### 原料暴騰で

平町豆腐業組合にては此の程使用中の原料大豆が最近益々暴騰した爲め協議の結果果左の如く十日から値上を行ふ由

(豆腐)大十錢 小五錢 (油揚)五錢(生揚)大一枚 五錢 小二枚五錢(燒豆)

### オル入札

平第一小學校で使用せるオルガン二臺は來る十三日午

明日のラジオ

今夜も明日も北東の風晴れたり曇つたり

報豫氣天

### 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)「オートジャイロ」小川格

後六、三〇「夏期英語講座」座三三八鹽谷榮

後七、三〇講演「オリムピック馬術に出場して」陸軍騎兵中尉西竹一

後八、〇〇「ラヂヤ風景」心爽かお、初秋、神田三

### 明日の部

前六、三〇家庭教育講座

廊外 後八、五〇獨唱とピアノソプラノ佐藤春代ピアノ福井文彦

後九、三〇時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

### 飛行機見物の歸途にフト悪心

#### 朝鮮人平署に突出さる

石城郡湯本町字傾城居住坑夫朝鮮釜山岩南生れ朴雲霖(三)は六日午後六時頃小名濱町字定西海岸で不時着陸した飛行機の見物をなしての歸途同町古港飲食店山崎トメ方で三圓餘の飲食をな

### 罰金未納に最後の通牒

平檢事局に於ける現在の罰金未納額は四千三百餘圓の多額にのぼり之れが整理に一方ならず苦心して居るが本日最後の手段として各被告人に對し召換狀を發送した

### 平裁判たより

第一職員勝つ 平第一小學校職員對世界館チームの野球試合は昨日午後二時より第一グラウンドに於て行つたが三對二のスコアにて第一職員チーム辛勝した

平裁判たより 石城郡高久村大字上山三番地無職吉田正元(二)が去月二十五日午前一時頃石城郡湯本町大字湯本字辰ノ口二

「個性を活かす教育」大阪教育研究所長大仁茂

前七、〇〇 エスベラント講座(二十三)日本エスベラント學會國際常設代表進藤静太郎

前九、一〇 料理献立「鮎生トマトサラダ」朝倉長吉

前九、五〇 「報知新聞社主催太平洋橫斷飛行機出發式狀況」東京國際飛行場より中繼

後〇、〇五 講演「南洋へ」上野松坂屋より中繼

後九、〇〇 義親南洋音樂「ガメラ」演奏

後二、〇〇 講演「滿洲建國と乃木將軍」綿貫晴文

後六、〇〇 「子供の時間」お話と唱歌福島縣本宮尋常小學校兒童

後六、三〇 山と海の講座「月山の地形」山形高等學校教授安齊徹

後七、三〇 講演「國民更生の根本精神」文部大臣鳩山一郎

後八、〇〇 謠曲「富士太鼓」梅若龜之外

後九、〇〇 祭り囃子宮城縣登米町有志

後九、三〇 (滿洲より)滿洲音樂

### 回求人の部

- △自動車修繕工 二十五才 尋卒 日五六十錢位(平町某)
- △豆腐製造見習 十八迄 尋卒 月三四圓(平町某)
- △賣子 三十以下 尋卒 賣上の二割給す(原ノ町某)
- △餅屋見習 二十五才 尋卒 給料面談(石川郡某)
- △指物工 二十才 尋三修 給料面談(神谷村某)
- △雜婦 三十才 尋卒 給料面談(平町某)
- △炊事夫 四十才 無學 給料面談(平町某)



# 豪傑剣士

第四百七席

女流劍客里見静枝

悟道軒 圓玉演  
近藤 紫雲畫

【禁轉載上演及映畫】

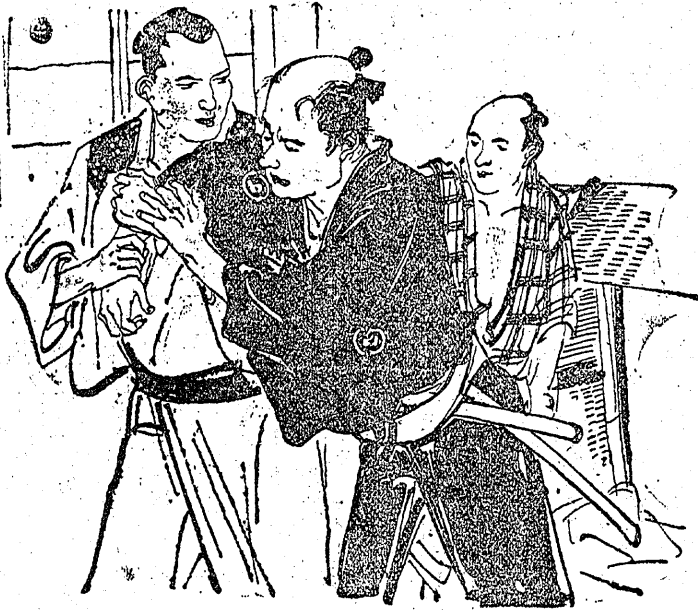
みじめな試合歸り  
茲は廻町貝塚上杉浪人長谷部傳藏、飯下平八、秋田丈助の住居、時は三月中旬丈「オイ平八、まだ長谷部は戻らんナ、大方彼奴め馳走になり酒を見た爲に腰が重くなつた事であらう、あゝ、好い季候になつたナ、櫻が咲くと人の氣も浮立ちしみる、錢が慾しくなる」

平「不満を抱くナ、今に好い事がある、長く貧乏ばかりして居らぬ、一朝運勢が盛になると我ながらびつくりする程吉事に遭遇ふ」

丈「びつくりする程好い事に遭遇ひたいものだ、何しろ浪人して以來不思議に三度の飯が甘くなつたよ、不自由せぬ内に菜が悪ければ飯が食はぬと云つたが儲貧乏をするに鹽をかけても飯が甘い、去年の暮に俺が名句を吐いた『しみく』と飯の味知る年の暮』あゝ何時になつたなら運勢に對面が出来るか」

平「力を落すナ、長谷部が立花侯に抱られ、其縁によつて我々も奉公する事になる、さすれば米に離れる様な事はあるまい、人間も生活に困らぬ様に」

體も樂になり徙つて心もゆつたりとし顔に光澤が出て来る、さうなると好事のみ来るナ、喰物に追はれてあぐせくするやうでは出世は出来ない、先づそれまで堪へてゐる、それにしても長谷部はどうしたか、今日の



許に參つて價を知らずして米を食ふ事もある、其内には我々とも十石や廿石の食糧は取れる事になる、果報は寝て待てといふ謬もある、時機の來たるを徐に待ち受けるであらう、オー大分暗くなつて來た、油はあるかえ」

丈「油は無い、昨日までは隣の灯をこの壁の鼠穴から取つて間に合して置いたが隣も今日から夜業は致さぬさうだ、シテ見れば灯は早く消すであらう」

平「デハ買つて來なさい、まだ錢はあるだらう何にも無いと、敷居に四文錢が

三ツ打込んであつた、あれは賊の入れぬまじなひださうだ、それを剝がして油を買へ」

丈「それは無いよ疾くに遣つて了つた」

丈「ハ、ハ、卅六文を貯へるに千辛萬苦をしたか……何んだ、コレ、貴様は何んだ」

平「わたくしは駕屋でございます、此方の旦那を乗せて參りました」

丈「何だ此方の旦那を乗せて來た、ウン下谷から乗せて參つたか」

丈「オイ平八、長谷部が歸つた」

傳「イヤ酔つたわけでは無い、これにはいたい仔細がある、駕昇大きに御苦勞、これは酒代とかが貸だ」

**松村** 淋病 皮膚病 婦人病 胃性病 腸虫病

院 醫 科 院 醫 科

門 專 門 專

院 醫 科 院 醫 科

院 醫 科 院 醫 科

**看護婦急派**

の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

**藤沼醫院**

平町紺屋町

電話五〇七番

平新川町十九

外産婦人科

**木村病院**

電話一六四番

院長 木村寅次郎

婦人科 醫學士 内木宗八

産婦人科

泌尿器科

天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥

**別府林**

全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな

雑誌 推獎 い方がありませうか

右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各葉であります。

尙ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。

論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。

美本淋病治療書無代進呈、此の新聞各記入申込者に付前金甲込者には送料無料、新品送藥。

代金引換廿三錢手数料金納の事。

藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓 慢性用(赤箱) 一週分 五圓

特約一 手販賣

平町古鍛冶町一〇

**阿康藥舖**

縣社ノ下(電話四四番)

**外科**

X 光線科

性病科

外科

意隨院入

平町田町

**安齊外科醫院**

電話四七五番